

第12回

中野の★になろう！

2025

中野区検定

令和7年（2025）年11月30日（日）



受付 9:30～ / 開始 10:15～（試験時間 60 分）

会場●中野区産業振興センター

中野区中野 2-13-14

ものしり博士からの声
★「散歩中にも歴史への理解が深まり
中野に愛着が感じられます！」
★「地域活動に縁がなかったが、
検定を通じて暮らしが豊かになりました！」

検定料●（当日会場払い）

一般	1,500 円
高校生以上の学生	1,000 円
小・中学生	500 円

- 中野区に関わる歴史、地理、文化、観光、産業を中心に出題。
- 今回から写真を使った出題もあり。
- 全 50 問（試験時間 60 分）
- 四者択一マークシート方式
- 高得点者は『ものしり博士』認定（副賞有り）



お申込み

申込期間 ●10月1日(水)～11月20日(木)

先着順受付(定員100名)

申込方法●QR コードより WEB サイトにアクセスし登録



●電話での登録も可能です

TEL:03-3228-5544



主催:公益財団法人中野区教育振興会 後援:中野区/中野区教育委員会

協賛:中野区町会連合会/中野区商店街連合会/一般社団法人中野区観光協会/新渡戸記念中野総合病院

東京中野ライオンズクラブ/麒麟ビバレッジ株式会社/中野仏教会/中野区私立幼稚園連合会

世代間交流「夢のかけ橋」/公益社団法人中野区シルバー人材センター



最新号は9月上旬に発売予定です！



●過去問題集(1冊 500円)販売
／区役所1F 福祉売店(アザレア)
中野区教育センター分室(野方1-35-3)

ビキナー部門の過去問題より

1. 江戸時代、第五代将軍徳川綱吉が、現在の中野駅周辺の広い土地に犬屋敷を作りました。この犬屋敷には、多い時には何匹くらいの犬が飼われていたでしょうか？(東京ドーム 20 個分の広さと言われています。犬屋敷は、喜多見、大久保、四谷にも作られましたが、やがて中野に一本化されました。御囲とも呼ばれています。)
2. 洋食の普及とともに、大正時代、最初に中野で製造された調味料は何でしょう？
3. 中野の最初の国際交流と呼ばれる出来事は、江戸時代、ある動物が運びこまれた事だと言われています。それはどんな動物ですか？
(舶来動物は、実際の生息地や出向地とは関係なく、仏教と関わる「天竺」「西方」といった場所と結び付けられ、「霊獣」「聖獣」とされました。)



知ることがきっかけで、
いろんな世界が広がっていく！！

